

新型コロナウイルスワクチン予防接種(追加接種(3回目接種))に使用する【ファイザー社製ワクチン 及び 武田/モデルナ社製ワクチン】について

◎ 新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、**希望者は無料で接種可能**です。

◎ ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製及び武田/モデルナ社製のワクチンです。本ワクチンの追加接種(3回目)から約1ヶ月後の中和抗体価は、2回目の接種から約1ヶ月後の中和抗体価よりも高い値であることが報告されています。

【ファイザー社製ワクチン】

販売名	コミナティ®筋注
効能・効果	SARS-CoV-2による感染症の予防
接種回数・間隔	1回(2回目の接種が完了してから原則8ヶ月以上経過した後) ※筋肉内に接種
接種対象	18歳以上(18歳未満の人に対する追加接種の有効性・安全性はまだ明らかになっていません。)
接種量	1回0.3 mLを1回

【武田/モデルナ社製ワクチン】

販売名	スパイクバックス筋注®
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	1回(2回目の接種が完了してから原則8ヶ月以上経過した後) ※筋肉内に接種
接種対象	18歳以上(18歳未満の人に対する追加接種の有効性・安全性はまだ明らかになっていません。)
接種量	1回0.25 mLを1回

◎ ワクチン(ファイザー社・武田/モデルナ社)の特徴

本剤はメッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質(ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質)の設計図となるmRNA を脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種によりmRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、このmRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

【ファイザー社製ワクチン】

【有効成分】	トジナメラン(ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードするmRNA)
【添加物】	● ALC-0315: [(4-ヒドロキシブチル)アザンジール]ビス(ヘキサン-6,1-ジイル)ビス(2-ヘキシルデカン酸エステル) ● ALC-0159: 2-[(ポリエチレングリコール)-2000]-N,N-ジテトラデシルアセトアミド ● DSPC: 1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ● リン酸水素ナトリウム二水和物 ● 精製白糖 ● コレステロール ● 塩化カリウム ● リン酸二水素カリウム ● 塩化ナトリウム

【武田/モデルナ社製ワクチン】

【有効成分】	エラソメラン(ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードするmRNA)
【添加物】	● SM-102: ヘプタデカン-9-イル 8-((2-ヒドロキエチル)(6-オキソ-6-(ウンデシルオキシ)ヘキシル)アミノ)オクタン酸エステル ● コレステロール ● DSPC: 1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ● トロメタモール ● トロメタモール塩酸塩 ● 1,2-ジミリストイル-rac-グリセロ-3-メチルポリオキシエチレン(PEG2000-DMG) ● 氷酢酸 ● 酢酸ナトリウム水和物 ● 精製白糖

- 1回目や2回目の接種に用いたワクチンの種類に関わらず、本ワクチンの接種が可能です。
- 本ワクチンの追加接種を受けても、感染を完全に予防できる訳ではありません。また、ワクチン接種にかかわらず、引き続き、適切な感染防止策を行う必要があります。



登米市

新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目接種)について

令和3年12月27日

追加接種(3回目接種)対象者	ワクチン2回目接種完了から 原則8か月以上を経過した18歳以上の方 で、追加接種(3回目接種)を希望する方	
接種券送付時期	一斉送付ではなく、 対象者となる1か月程度前 に順次送付予定	
接種時期	高齢者施設入所者・従事者(通所施設含む)	1月中旬以降を予定
	65歳以上高齢者	1月下旬以降を予定

追加接種(3回目接種)で使用するワクチンについて

- 追加接種(3回目接種)に使用するワクチンは、**1回目・2回目接種に使用したワクチンの種類に関わらず、mRNAワクチン**(ファイザー社製ワクチンまたは武田/モデルナ社製ワクチン)を使用することが適当であるとされています。
- 使用するワクチンは、薬事承認されたファイザー社製ワクチンと武田/モデルナ社製ワクチンを使用します。
- 諸外国では、1回目・2回目接種と追加接種で異なるワクチンの使用(交互相種)を認めている国が複数あります。

新型コロナウイルスワクチン交互相種について

交互相種とは

1回目・2回目接種で使用したワクチンと異なるワクチンを使用することです。

(例)



1回目 ファイザー社製ワクチン 2回目 ファイザー社製ワクチン 3回目 武田/モデルナ社製ワクチン

安全性、副反応について

副反応は、**交互相種であっても2回目接種後の副反応と同程度の症状**で、3回目接種で1回目・2回目と同じワクチンを接種した場合と比べて差は無かったと報告されています。

(参考:厚生労働省ホームページ新型コロナワクチンQ&A)

新型コロナウイルスワクチン接種は強制ではなく、任意です。

予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただきます。体質や持病などの理由で新型コロナウイルスワクチンを接種できない人もいます。

ワクチン接種を受ける又は受けないことによって、差別やいじめなどが起きることのないよう、地域、学校、会社においては、本人の判断が尊重されるようお願いします。

登米市市民生活部 新型コロナウイルスワクチン接種対策室
コールセンター TEL 0120-567-257

新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目)接種後の症状について

接種後、すぐに現れる可能性がある症状について

アナフィラキシー	<ul style="list-style-type: none"> ●薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ●じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ●起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	<ul style="list-style-type: none"> ●ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて、時に気を失うことがあります。 ●誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

ワクチン	ファイザー社製ワクチン	武田/モデルナ社製ワクチン
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛	接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気・嘔吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1~10%	吐き気、嘔吐	接種後7日目以降の接種部位の痛みや腫れ、紅斑

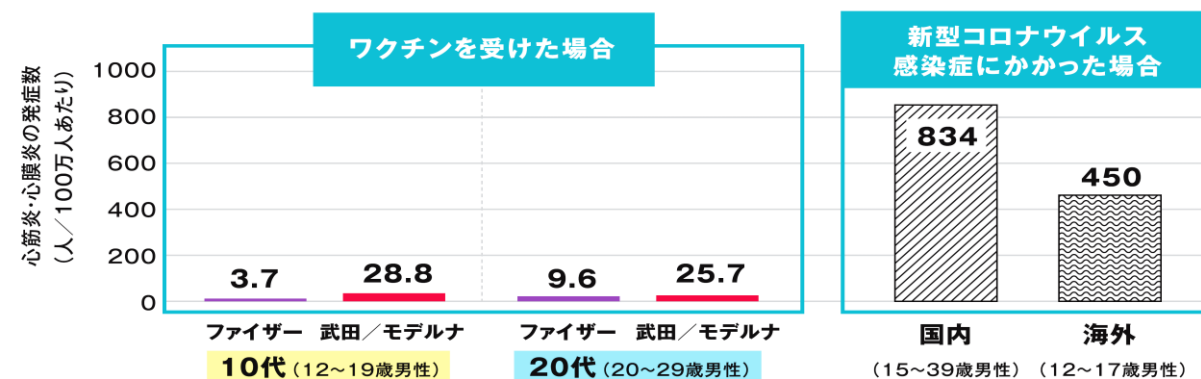
- 接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
- これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- 疲労や関節痛、発熱など、2回目接種後の症状と同程度の症状となります。

新型コロナウイルスワクチン接種後の心筋炎・心膜炎について

ごくまれですが、軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告されています。

- 報告されているものでは、若い方、特に男性において2回目の接種後数日以内に発症する例が多い傾向が見られます。
- 新型コロナウイルス感染症に感染した場合にも、心筋炎・心膜炎になることがあります。感染症による心筋炎・心膜炎の頻度と比べると、ワクチン接種後に心筋炎・心膜炎になる頻度は低いことがわかっています。

＜心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度の比較(男性)＞



出典:第70回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第19回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(令和3年10月15日開催)資料

(参考) ・厚生労働省「コミナティ(ファイザー社)を接種した方へ」
 ・「COVID-19 ワクチンモデルナ(武田薬品)を接種した方へ」
 ・「新型コロナワクチン接種後の心筋炎・心膜炎について」

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当する場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人(※1)
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症(※2)の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

(※1) 明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

(※2) アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。1回目あるいは2回目の接種でこれらの症状が認められた人は、同一のワクチンを用いた追加接種を受けることはできません。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、**注意が必要**です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- 妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。ただし、かかりつけの産婦人科医に確認していない場合でも、予診医によりワクチン接種が可能と判断された場合は、接種が可能です。
- 本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上(過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上)、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。(急に起こる副反応に対応できます。)
- 注射した部分は清潔に保つようし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。